

♡ 心の栄養はコミュニケーションから ♡

この度、当院では高齢者の方々に対し入院生活の中での安心や生活の維持のためアクティビティ・ケアはじめました。アクティビティ・ケアとは芸術活動や遊び活動、さらには生活文化の諸種の活動を通じて高齢者の心に栄養を与え、その人らしい生き方を支え、生活を活性化させるケアの手法です。あいさつ+15秒のコミュニケーションを大切し、個別での対応を行っています。また、高齢者のためのおもちゃを使った活動もしています。

アクティビティ・ケアの効果

運動的な効果

- 手、指、足

心理的・脳活性化効果

- 感性、認知・回想、癒し

コミュニケーション効果

- 交流



アクティビティで使用する“かえるジャンプ”ゲーム感覚で男性に人気です!!!

アクティビティ・ケアを通して

コミュニケーションをはかり、できた事を共に喜んだり、共感することを大切にしています。

認知症があると記憶が残りにくい場合がありますが、感情は残ります。たとえ一瞬でも“楽しい”“うれしい”“なつかしい”というような快感情を感じていただけるよう活動しています。

みさなんもやってみよう!
簡単脳トレ



「スマヌ」を鏡に映した
反転文字にしてみましよう!!

※難しい方はもしかしたら認知症予備軍?



週に1回、アクティビティインストラクターの2人を中心に行っていきます。

(左:中島言語聴覚士 右:高坂看護師)